

変化する時代と 変わらないもの

寺本 邦仁子 TERAMOTO Kuniko

情報流通行政局参事官



これまでのキャリアをふりかえって

幼少期はバブル景気でしたが学生時代は不況だったこともあり、成長産業でもあり他産業に多大な影響を及ぼすこともできる情報通信分野で、日本を元気にしたいと思い入省しました。

当時は、光ファイバや携帯電話の通信環境整備や様々な分野でのICT活用などが課題であり、総務省もインフラ整備やデジタル技術の経済活動・社会生活への浸透を促進していました。

20年たち、デジタルサービスは生活に欠かせず、「DX」はどの産業においても基本となる中で、我々は、社会不安や安全保障にも関わる、偽・誤情報や海底ケーブル・通信衛星を巡る課題等に直面しています。

時代の変化により求められる政策目的・対象は変わりますが、常に社会の根底を支える重要インフラであり続ける情報通信分野での政策づくりは、20年経っても変わらずやりがいにあふれています。



ホワイトハウスのクリスマスツリー

2025～現在 情報流通行政局参事官

ネット上の偽・誤情報対策やデジタル広告、青少年のネット利用を巡る課題など、デジタル空間の健全性の確保に向けた政策を担当しています。

2023～2025 情報流通行政局情報通信政策課調査官

テレコム3局の予算要求・執行の総括担当として、全予算事業の内容・方向性の精査から、3局としての重点事業の選定まで行い、通信衛星や海底ケーブル・データセンターの整備、偽・誤情報対策のほか、量子等新技術の研究、海外展開等を推進する予算を編成しました。

2019～2023 総合通信基盤局料金サービス課企画官 (一財)マルチメディア振興センターワシントン事務所長(海外勤務)

料金サービス課では、携帯電話料金の低廉化への取り組みと並行して、サービス利用が低調となった電報や公衆電話の制度見直しも担当しました。時代や世間のニーズに合わせた政策を打ち出していくことの重要性を痛感しました。

2015～2019 情報流通行政局情報流通振興課統括課長補佐 総務副大臣秘書官 総合通信基盤局消費者行政課総括課長補佐

副大臣秘書官として政務と事務の橋渡し役を務めました。行政官とは異なる視点から省内を俯瞰することは、今後の政策検討や組織マネジメントを考えるうえでとても貴重な経験となりました。

2013～2015 内閣官房日本経済再生事務局参事官補佐 積水化学工業株式会社(官民交流派遣)

経済再生事務局では、政府の成長戦略の情報通信分を担当しましたが、係長時代の総括経験が各省の情報通信関連施策の重要性判断に役立ちました。また、希望していた民間企業出向で経験した民間企業の事業進行や行政機関に対する考えは、今も役立っています。

2009～2013 情報流通行政局地域通信振興課課長補佐 山梨県情報政策課長(地方勤務)

東京出身として行っておきたかった地方勤務も経験しました。東日本大震災後に本省に復帰し、復旧・復興のための予算事業を企画・執行しましたが、自治体勤務で得た経験と知識が多いに活かしたと思っています。

2006～2009 情報通信国際戦略局情報通信政策課政策係長 情報通信政策局コンテンツ振興課係長

情報通信政策課政策係長は、テレコム3局の総括担当です。各部局で検討される政策を理解・調整し、省の進むべき方向としてまとめあげることがとてもやりがいがあり、また、課長補佐・調査官で経験することになった情報通信政策全体を俯瞰する仕事の基礎力を築くことができました。

2003～2006 総合通信基盤局高度通信網振興課 郵政行政局郵政事業連絡調整室 情報通信政策局地域放送課

係員時代は3つの部局に配属となり、所管業務全体に対する幅広い知識を身につけることができました。新法施行による企業の新サービスの開始や、インフラ整備、郵政事業の民営化など、自らの担当する業務の社会的影響の大きさに驚いたことを覚えています。